

研究機関名：日本大学医学部附属板橋病院

臨床研究に関する情報公開

疫学研究および臨床研究に関する倫理指針に基づく情報公開について

<インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究の実施について公開すべき事項に関する細則>に基づいて、下記のとおり情報を公開します。

<研究課題名>

同種造血幹細胞移植患者におけるバンコマイシン塩酸塩の血中濃度に影響を与える因子の検討

<研究期間>

承認日 ～ 西暦 2018 年 12 月 31 日

<意義・目的>

バンコマイシンは、院内感染の代表的な耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の治療薬として、多くの患者さんに使用されています。通常、バンコマイシンの投与量や投与方法は血中濃度を測定し、効果や安全性が保てるように調節を行っています。近年、白血病や悪性リンパ腫などの治療中に感染症が起こると、薬の濃度や作用にも影響を与える事が報告されています。しかし、白血病や悪性リンパ腫などの病気に対して骨髄移植を受けた患者さんが感染症を発症した場合、バンコマイシンの血中濃度や効果にどのような影響を及ぼすかは、よく分かっていません。そこで、本研究では骨髄移植を受けた患者さんの、バンコマイシンの血中濃度の推移を調査し、最適なバンコマイシンの投与方法を検討する事を目的としています。

この研究により、骨髄移植を受けた患者さんが、有効かつ安全なバンコマイシンの治療を受けることができることを期待しています。

<方法>

2005年1月から2015年12月までの間に、当院血液膠原病内科において、骨髄移植をしている間にバンコマイシンを使用した患者さんを対象としています。皆様の診察時に得られる臨床検査値、バンコマイシンの投与量、投与方法、血中濃度などのデータを使用して研究を行います。

本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は、下記の<問い合わせ窓口>までご連絡ください。

<問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院

東京都板橋区大谷口上町 30-1

血液膠原病内科学分野 担当：小林 寿美子

電話：03-3972-8111 内線：(PHS) 8015

研究機関名：日本大学医学部附属板橋病院

臨床研究に関する情報公開

疫学研究および臨床研究に関する倫理指針に基づく情報公開について

＜インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究の実施について公開すべき事項に関する細則＞に基づいて、下記のとおり情報を公開します。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は登録・参加を拒否することが可能です。また、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません

＜研究課題名＞

同種造血幹細胞移植患者におけるバンコマイシン塩酸塩の血中濃度に影響を与える因子の検討

＜研究期間＞

承認日 ～ 西暦 2018 年 12 月 31 日

＜意義・目的＞

バンコマイシンは、院内感染の代表的な耐性菌であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の治療薬として、多くの患者さんに使用されています。通常、バンコマイシンの投与量や投与方法は血中濃度を測定し、効果や安全性が保てるように調節を行っています。近年、白血病や悪性リンパ腫などの治療中に感染症が起これると、薬の濃度や作用にも影響を与える事が報告されています。しかし、白血病や悪性リンパ腫などの病気に対して骨髄移植を受けた患者さんが感染症を発症した場合、バンコマイシンの血中濃度や効果にどのような影響を及ぼすかは、よく分かっていません。そこで、本研究では骨髄移植を受けた患者さんの、バンコマイシンの血中濃度の推移を調査し、最適なバンコマイシンの投与方法を検討する事を目的としています。

この研究により、骨髄移植を受けた患者さんが、有効かつ安全なバンコマイシンの治療を受けることができることを期待しています。

＜方法＞

2005年1月から2015年12月までの間に、当院血液膠原病内科において、骨髄移植をしている間にバンコマイシンを使用した患者さんを対象としています。皆様の診察時に得られる臨床検査値、バンコマイシンの投与量、投与方法、血中濃度などのデータを使用して研究を行います。

本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院

東京都板橋区大谷口上町 30-1

薬剤部 担当：小田桐 功武

電話：03-3972-8111 内線：(薬剤部) 3013